



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 株式会社 三社電機製作所  
コード番号 6882 URL <http://www.sansha.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 四方邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 佐藤光

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 06-6321-0321

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

平成25年12月10日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	10,750	11.7	1,083	63.6	1,147	79.5	804	228.4
25年3月期第2四半期	9,624	△31.0	662	△41.1	639	△38.9	244	△68.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 974百万円 (411.5%) 25年3月期第2四半期 190百万円 (△71.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	57.79	—
25年3月期第2四半期	19.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	25,468	15,936	62.6	1,066.42
25年3月期	23,633	14,069	59.5	1,112.74

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,936百万円 25年3月期 14,069百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、平成25年3月期期末配当金10円00銭の内訳は普通配当が7円50銭、記念配当が2円50銭(創業80周年記念配当)となっております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	9.5	2,000	30.2	2,100	29.9	1,350	48.3	90.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 株式会社三社エンジニアリングサービス  
、除外 1社 (社名) ス

詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,950,000 株	25年3月期	12,650,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,079 株	25年3月期	6,046 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,915,364 株	25年3月期2Q	12,643,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府のデフレ脱却・過度な円高の是正に向けた政策が奏功し、景況感は緩やかな改善の兆しが出始めているが、一方で中国をはじめ新興国の景気減速等の懸念が浮き彫りになってまいりました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、収益性を重視した経営を進めるとともに、安定した財務基盤をベースにして「守りの経営」から「攻めの経営」へ方向転換をはかり、エネルギー・ソリューション・カンパニーとして成長分野での展開を加速させました。特に販売面では顧客満足度の向上や業務効率化等を図る目的で、従来の製品別営業体制を、販売からアフターサービスまで一貫して担当する顧客別営業体制に再編を行いました。また、部材調達面では、中国の製造子会社や協力会社へ日本から供給している電源機器用部材を中心に、為替リスクの軽減や材料費の低減、地産地消による輸送費用の低減等を目的に海外調達の一層の拡大を進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、太陽光発電関連の堅調な需要を背景に売上高は107億5千万円（前年同期比11.7%増加）となりました。利益につきましては、営業利益は10億8千3百万円（前年同期比63.6%増加）、経常利益は11億4千7百万円（前年同期比79.5%増加）、四半期純利益は8億4百万円（前年同期比228.4%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (a) 半導体事業

当事業におきましては、産業用一般モジュールが国内外の民間設備投資の回復遅れから販売が低調に推移しました。一方、国内市場では太陽光発電関連用が、また、中国市場ではエアコン用の一般モジュールの販売が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は31億6千2百万円（前年同期比15.0%増加）、セグメント利益は昨年実施した経営体質改善策等の効果も重なり3億1千8百万円（前年同期比566.7%増加）となりました。

#### (b) 電源機器事業

当事業におきましては、大型の一般直流電源や金属表面処理用電源等が国内外の民間設備投資の回復遅れから販売が低調に推移しました。また、欧米を中心に需要が既に一巡したデジタルシネマ用光源電源の販売は前年同期に比べ半減いたしました。一方、国内市場ではメガソーラー用を中心に太陽光発電用のパワーコンディショナの需要が引き続き堅調に推移し、インバータ全体の売上高は31億1千9百万円（前年同期比163.8%増加）となりました。

この結果、当事業の売上高は75億8千7百万円（前年同期比10.4%増加）、セグメント利益は13億9千1百万円（前年同期比13.5%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ18億3千4百万円増加し、254億6千8百万円となりました。これは主に平成26年4月より稼働予定の滋賀工場新棟建設に係る設備投資としてその他（建設仮勘定）が10億6千9百万円増加したこと、また、現金及び預金が4億1千5百万円、棚卸資産が5億8千6百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ3千2百万円減少し、95億3千1百万円となりました。これは未払金が8億6千5百万円増加したものの、1年以内に返済予定の長期借入金5億円、賞与引当金が2億4百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ18億6千7百万円増加し159億3千6百万円となりました。これは主に公募及び第三者割当による新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5億9百万円ずつ増加したこと、利益剰余金が6億7千7百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績の動向を踏まえ、平成25年8月2日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想を修正することといたしました。

なお、第3四半期より、為替レートは95円/ドルを前提としています。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	1,900	1,950	1,200	80.30
今回修正予想(B)	22,500	2,000	2,100	1,350	90.34
増減額(B-A)	1,000	100	150	150	—
増減率(%)	4.7%	5.3%	7.7%	12.5%	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、平成25年4月1日付で連結子会社である株式会社三社エンジニアリングサービスを吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,879	6,294
受取手形及び売掛金	7,041	6,614
商品及び製品	1,620	2,024
仕掛品	984	1,225
原材料及び貯蔵品	1,197	1,138
繰延税金資産	578	504
その他	502	885
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	17,789	18,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,778	1,720
機械装置及び運搬具（純額）	637	663
土地	2,297	2,297
その他（純額）	231	1,296
有形固定資産合計	4,945	5,978
無形固定資産		
その他	552	477
無形固定資産合計	552	477
投資その他の資産		
投資有価証券	147	133
繰延税金資産	144	112
その他	68	106
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	346	338
固定資産合計	5,844	6,793
資産合計	23,633	25,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,087	4,042
短期借入金	1,136	1,256
1年内返済予定の長期借入金	500	—
未払費用	658	623
未払法人税等	258	268
賞与引当金	612	407
未払金	978	1,843
その他	535	321
流動負債合計	8,767	8,764
固定負債		
長期借入金	300	300
退職給付引当金	75	49
未払役員退職慰労金	388	388
その他	33	29
固定負債合計	797	767
負債合計	9,564	9,531
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,264	2,774
資本剰余金	2,188	2,698
利益剰余金	9,673	10,351
自己株式	△3	△3
株主資本合計	14,123	15,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	35
為替換算調整勘定	△83	80
その他の包括利益累計額合計	△54	116
純資産合計	14,069	15,936
負債純資産合計	23,633	25,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	9,624	10,750
売上原価	7,261	7,782
売上総利益	2,362	2,968
販売費及び一般管理費	1,699	1,884
営業利益	662	1,083
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	11	10
受取賃貸料	8	7
デリバティブ評価益	37	40
為替差益	—	31
その他	20	6
営業外収益合計	81	99
営業外費用		
支払利息	23	18
株式交付費	—	14
支払手数料	2	1
為替差損	77	—
その他	0	1
営業外費用合計	104	35
経常利益	639	1,147
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	40
固定資産売却益	3	0
その他	0	—
特別利益合計	3	40
特別損失		
固定資産廃棄損	3	3
投資有価証券評価損	48	—
特別退職金	336	39
その他	0	0
特別損失合計	388	43
税金等調整前四半期純利益	254	1,144
法人税、住民税及び事業税	74	237
法人税等調整額	△64	103
法人税等合計	9	340
少数株主損益調整前四半期純利益	244	804
四半期純利益	244	804

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244	804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	5
為替換算調整勘定	△66	164
その他の包括利益合計	△54	170
四半期包括利益	190	974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	974

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	254	1,144
減価償却費	426	425
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6	△25
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息	23	18
株式交付費	—	14
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△40
投資有価証券評価損益 (△は益)	48	—
特別退職金	336	39
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△0
固定資産廃棄損	3	3
売上債権の増減額 (△は増加)	1,503	553
たな卸資産の増減額 (△は増加)	32	△489
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,413	△160
その他	△308	△948
小計	884	516
利息及び配当金の受取額	13	13
利息の支払額	△23	△17
法人税等の支払額	△92	△232
法人税等の還付額	13	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	795	279
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△372	△321
有形固定資産の売却による収入	39	0
無形固定資産の取得による支出	△32	△96
その他	△15	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382	△450
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△369	84
長期借入金の返済による支出	—	△500
リース債務の返済による支出	△3	△4
株式の発行による収入	—	1,004
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△94	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467	458
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△103	393
現金及び現金同等物の期首残高	5,575	5,879
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	22
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,472	6,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月19日を払込期日とする公募による新株式発行を行い、また、平成25年7月18日を払込期日とする第三者割当による増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ509百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,774百万円、資本準備金が2,698百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,748	6,875	9,624	—	9,624
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,748	6,875	9,624	—	9,624
セグメント利益	47	1,225	1,273	(610)	662

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,162	7,587	10,750	—	10,750
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,162	7,587	10,750	—	10,750
セグメント利益	318	1,391	1,709	(626)	1,083

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。